

災害時の給水・運搬

- 災害時の断水に備え、最低3日間分は水を備蓄し、食事や飲料、顔、身体を拭く、清掃などに使しましょう。
- 備蓄の水を使い切った後は、最寄りの避難施設などの給水拠点までいく準備をしておきましょう。
- 水は重たいので、身近な物も活用して運搬方法を工夫したり、近隣の人と協力しあいましょう。

ポイント1

成人一人が1日に命を維持するために必要な水の量は**3ℓ**です。その他に、身体の清潔、清掃、トイレなどの生活用水で**2ℓ**が必要とされています。

ポイント2

水は**1ℓ1kg**です。重たいですが、工夫次第で軽く感じる運び方や効率的な給水ができます。実際に持って、背負って、体感してみましょう。

水を運搬してみよう!



持つ



背負う



肩にかける

どれが軽く感じられるかな?



リュックサックやバックの中に備蓄の後の空のペットボトルを入れるのも良いですよ。

水を使ってみよう!



ひねる



注ぐ

my action



備蓄する水の量を確認しましょう。

- 飲料水： $3\ell \times (\quad) \text{日分} \times (\quad) \text{人家族} = (\quad) \ell \approx 2\ell \text{ペットボトル} (\quad) \text{本分}$
- 生活用水： $2\ell \times (\quad) \text{日分} \times (\quad) \text{人家族} = (\quad) \ell \approx 2\ell \text{ペットボトル} (\quad) \text{本分}$



今あるものにをつけて、買い足す物を確認しましょう。

- 給水袋
- リュック
- ペットボトル
- トートバック
- ポリタンク



最寄りの給水拠点はこちらで調べることができます。

メモ
